



当院の防災への取組みについて

国家公務員共済組合連合会 名城病院事務部長 落合逸男

3月の東日本大震災、そしてこの9月の台風で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い被災地の復興を心からお祈りいたします。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われています。また「備えあればうれいなし」とも言われております。災害には、地震・雷・風水害・停電・テロ・感染症などの天災・人災など、各種の災害があります。当院では不測の事態に対して事前の準備を行い、被害を最小限に食い止め、皆様の安全に努めています。その部署や事例を紹介いたします。病院南側入口の右側には防災センターがあります。出入する方のチェック、要所要所に設置した防犯カメラや火災報知器などの情報チェック、緊急事態への

対応などの中心的な役割を担っております。入口左側の救急センターでは救急患者の対応が可能です。当院の駐車場は建物の北側にあり正面玄関より2メートルほど高くなっております。高所に駐車場があるため、豪雨時には、雨水が下方の東側玄関に流入しやすくなり止水板を設置して防御対策をしております。また、雨水の貯水槽を設置して、ライフラインの上水道の機能停止時には、この貯水槽の雨水を患者様の飲料水に浄化できる震災用浄水装置も設置しており、1か月に1度は試運転も行った整備をしております。年2回以上の防火・防災訓練実施、非常用発電装置、酸素ボンベさらには3日分の食料など備蓄もしております。もちろん当施設は震度6強ま

での耐震設計になっております。

お気付きの方も多いかと思いますが、2階待合ホールに災害救援ベンダー（自動販売機）を設置しております。普段は通常の自販機ですが、災害等で停電になった場合、専用キーによる人的操作で非常用電源に切り替わり、販売用飲料が取り出せるようになっております。「備えあればうれいなし」というものの、万全の備えは非常に難しいと考えております。不幸にも大災害に出くわしたら、周りの人と協力して生き残る工夫をしましょう。パニックにならないように日頃から災害時行動を考えておくことも防災のひとつだと思います。



市民公開講座のお知らせ

名城病院では市民公開講座を行います。お気軽にご参加ください。



日時 平成23年11月15日(火)
午前11:00～12:00

テーマ 「高血圧の予防と付き合い方」

会場 名城病院 地下1階 大会議室
(参加費無料)

講師 名城病院 院長 伊藤隆之

愛知医科大学名誉教授、日本循環器学会理事・専門医
日本高血圧学会評議員・FJHC・専門医

お問合せ・ご予約 名城病院 公開講座係 ☎(052) 201-5311 (内線 2145)
お席に限りがありますので、ご予約をおすすめします。

当院の取り組み

企画課

第2回 VEPTR (ベプター) 研修会開催

去る6月27日・28日に、当院にて日本側弯症学会主催によるVEPTRの研修会が開催されました。

VEPTRとは (Vertical Expandable Prosthetic Titanium Rib) の略語で、側弯症の患者 (小児) の方々の体内に金具を埋め込み矯正させる手術で、米国のDr.Campbellキャンベルにより開発され、日本では、厚生労働省より2008年12月22日付で当初、名城病院にのみ保険適用が承認された手術です。(現在、他に2施設認可。)

日本においてこのような新技術、新医療機器が治験無しで承認を受けたことは過去に前例が無く、驚きとともに大変喜ばしいことです。ただしこれは今後の新技術や新医療機器の導入にも大きく影響を与える可能性もあり、VEPTRの適正使用について側弯症学会内の委員会で管理し、責任をもって遵守していかねばならず、その使用条件として年1回の研修会が義務付けられています。



昨年に1回目が開催され、今回が2回目となり、開発者のDr.Campbellも招致して、VEPTRの講義および実際の公開手術・実際の診察が行われました。全国から20名余の整形外科の医師が集まり、熱心な議論が交わされ、2日間とも盛況のうちに終了しました。

当院では脊椎脊髄センターを設け、整形外科の川上部長以下、多数の医師が専門的な治療を行っておりますが、この手術がより確実かつ安全に行われるよう、今後とも努力していく所存です。



看護部

皮膚・排泄ケア認定看護師

角南美帆

“ストーマ”という言葉、聞いたことありますか？



オストメイトマーク

“ストーマ”とはギリシャ語で「口」を意味し、おなかの外に作った便や尿の排泄口のことをいいます。腸や膀胱の病気のある部分を手術で切除したあと、新しくおなかにつくられるものです。人工肛門、人工膀胱とも呼びます。

ストーマを持っている人は、日本に約12万人います。いつも適切に装具をつけていれば、お通じやお小水は漏れません。装具にある程度たまったらいれで捨てます。装具は数日で交換します。入浴や仕事、スポーツ、旅行など、入院前とほとんど同じように生活す

ることができます。そのためには、自分に合った装具を選び、管理する事が大切です。

当院ではストーマを保有している患者さんに対して、看護師による個別相談 (ストーマ外来) を実施しています。そこでは正しい装具の交換方法、体型や生活、季節の変化に応じたケア、生活指導など、さまざまな相談に対応しています。詳しくは外科外来受付でお尋ねください。

現在では公共交通機関 (JR・私鉄・地下鉄)、官公庁施設、デパート、

美術館・図書館等に「オストメイト対応トイレ」が設置されています。このトイレには、ストーマをもつ方が排泄物の処理、ストーマ装具の交換、ストーマ周囲皮膚の清拭、使用済み装具の廃棄などができる設備が整っています。なお、トイレ入口には、オストメイトマークが表示されています。外出先でトイレを利用した際はこのマークを探してみてくださいね。



放射線部

X線骨密度測定装置の
新規導入

当院では本年より新しいX線骨密度測定装置が稼働しました。骨密度は骨がどのくらい丈夫かを調べる検査で、骨密度が最も高い年齢（20～44歳）の平均値を基準にして、自分の骨は基準と比較して何%という結果が出ます。この結果で、骨粗鬆症の治療が必要かを決めています。

この骨密度は測定する部位によって値が少し変化しますが、骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインでは、「椎体と大腿骨近位部の両者を測定するこ

とが望ましい。上記2か所での測定が困難な場合は前腕骨を測定する。」とあります。今まで当院では前腕骨

だけしか測定ができなかったのですが、新しい装置では腰椎や股関節等、他の部位でも検査が可能になりました。腰椎では早期に骨減少が始まる海綿骨の割合が高い為、早期の骨減少を確認し易く、治療による変化率も大きいと言われます。また、大腿骨近位部



の骨折は加齢とともに増加し、寝たきりの原因となるため、この部位での測定は有効だと言われています。

他の病気の治療や加齢によって骨密度が低くなっていないか心配という方は、主治医と相談の上、一度検査を受けてみることをお勧めします。

NSTプロジェクト

治療をサポートする栄養

有志による栄養療法の勉強会を開始したのは今から約10年前の平成14年1月のことです。翌年、平成15年4月に現在のNSTプロジェクトが設立となりました。

NSTとは、「Nutrition Support Team」の頭文字をとったもので、日本語では「栄養サポートチーム」という意味です。栄養管理を症例個々や各疾患に応じて適切に実施することを目的としており、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・歯科衛生士・言語聴覚士等多職種スタッフが集まり、そ

れぞれの専門知識を出し合い栄養を管理して治療をサポートするチーム医療です。

適切な栄養管理をすることにより病気の早期治療の促進、合併症の予防及び軽症化、早期退院や社会復帰の手助け、医療の質の向上、患者様個人に合った栄養療法の実践などの効果が期待できます。

具体的な活動として、毎週木曜日の昼休み時間に自由参加によるランチタイムミーティングを開き、栄養スクリーニングによりNST介入となった患者様の栄養評価と勉強会を行っています。その後、NSTメンバーによる病棟回診を実施し、栄養状態の評価・判定を行い、



より適切な栄養補給ができるよう計画指示を出しています。

平成22年4月の診療報酬改定ではNST加算が新設され、国からも栄養管理の重要性が認められました。

現在当院は、実地修練認定教育施設認定・日本栄養療法推進協議会NST稼働施設認定を取得しており、4名のNST専門療法士がいます。しかしながらNST加算が取れる体制はまだ整っておらず、ますます嗜好の多様化する高齢化社会において、地域の皆様に最善の医療が提供できることを目指し、人材教育とNST加算取得体制の構築に向け日々努力を重ねています。



お知らせ

ベッドサイドのリニューアル

平成23年7月にテレビのアナログ放送が終了したことをうけ、全病室のテレビをデジタル放送対応の液晶モニターに入れ替えました。



用度施設課

これに伴い、使い勝手が悪いとのこと意見を頂いていた床頭台と冷蔵庫もすべて改良したものに入れ替えました。

更に12階の特別室においては、床を張り替え、テレビや冷蔵庫も一回り大きなものを設置しました。

今後も、当院へ入院される皆様に、快適な療養生活を送って頂けるような環境整備に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



HPご案内



ホームページへのアクセスは

<http://www.meijohosp.jp>

または 検索

携帯サイトへのアクセスは



<http://www.meijohosp.jp/mp/>

または、左記のQRコードをご利用ください。

この度、当院のホームページをリニューアルしました。

公式Twitter

名城病院【公式】Twitter
はじめました。

アカウントは
@meijo_hp です。

(災害時の緊急連絡にも使用します)

●名城病院だより「わ」のバックナンバーをご覧になりたい方は、ホームページ「当院の取り組み」★をクリック！

編集

地震と津波による被害の甚大さは言うまでもありませんが、今回、日本列島に多大な被害をもたらした台風12号と15号は、改めて台風の脅威を知らしめることとなりました。

昭和35年に制定された防災の日、大正12年9月1日に発生した関東大震災にちなみですが、同時に例年8月～9月1日付近は、台風の襲来が多いとされる二十日にあたることにも由来します。冬が来るまでは、台風接近の可能性があり、注意が必要です。人知を尽くしても天災をなくすことはできませんが、組織、個人が防災に対する関心をより高めることで、被害を最小限にとどめることができると思われます。

最後に、東北地方と台風被害に遭われた地域の日も早い復興を願って止みません。

S.1

後記

名城病院診療等のご案内

ホームページはこちら <http://www.meijohosp.jp>

診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)
外科・整形外科・脳神経外科・心血管外科
皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科
歯科口腔外科・神経内科

お問合せは、

- 午後の診療等、詳しくは、医事課まで(内線2132)
 - 医療福祉に関しては、医療福祉相談室まで(内線5105)
- 医療機関の方へ
- 病診連携に関しては、病診連携室まで(内線2151)

診察受付時間

【新患受付】午前8:30～11:30まで
【再来受付】午前8:00～11:30まで

面会時間

【一般】午後0:30～8:00まで
【新生児】午後0:30～8:00まで(授乳時間を除く)
【ICU】午後0:30～4:30まで
(家族のみ) 午後5:00～8:00まで

※生花の病室への持込は、感染予防のためご遠慮願います。

診療案内

【休診日】土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)
創立記念日(11月6日)

所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。

